

## 刊行にあたって

---

2021年を振り返ると、COVID-19の猛威はとどまるところを知らず、世の中の構造自体が変わってしまったのではないかとすら感じる。ワクチンの効果で(?)、2021年11月の時点ではさすがに下火になってきたようだが、年末年始にかけてはまた勢いを増しそうである。このような世情のなか、昨年につき、本年も本書を刊行する運びとなった。

読者の皆様の反応をすべて把握しているわけではないが、案外多かったのは、歯科ディーラーの方々からの反応であった。取引先の先生に紹介したい商品が掲載されており、商談の役に立ったという声がかなりの数に上った。こちらとしてみれば、「へー、そんな使い方があったのか!」といったところであるが、よく考えてみると、これはデンタルショーそのものではないかということに気づいた。すなわち、2021年版の巻頭に記したように、「誌上デンタルショー」が見事に「開催」されたことになる。

今回も、ユニットやX線機器などのいわゆる大物器械は除外してある。これは、リアルなデンタルショーであっても「現物の確認」程度であることが多く、よほどエポックメイキングな製品以外は掲載する価値がないと判断したためである。

2021年版の繰り返しになるが、「自分の興味のないもの」にぜひ目を向けていただきたい。そうすることにより、臨床の新たな方向性がみつかることも多い。

今回は、小生のコラムに「裏話」を記してある。いろいろな事情によりすべて掲載されるかどうかはわからないが、評判がよければ続けたいと考えている。

さらに繰り返すが、本書はデンタルショーに代わるものとして、責任のとれる出版社、編集者が、責任のとれるメーカー、執筆者を選び、信用できる情報のみを厳選して開催する「誌上デンタルショー」である。どうか存分に楽しんでいただければ幸いである。

2021年12月

豊山洋輔